

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>



しまね

いきいきねつと

11 2012  
月号

お知らせ

いいこと いっしょに いきいきフェスタ★2012

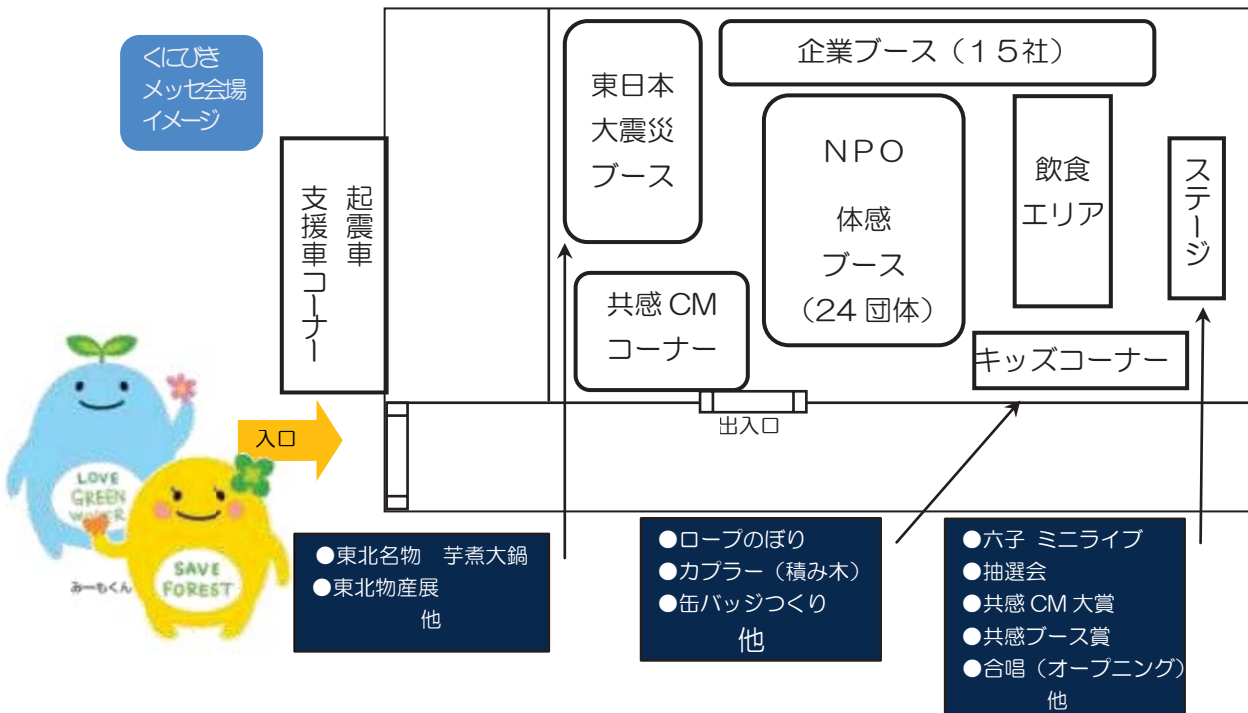
12・1  
(土)

NPO活動を広く紹介する**社会貢献共感型イベント**です!

**「知って」「共感して」「参加して」**盛り上げよう!!



12/1(土)、松江市のくにびきメッセを会場に、県民いきいき活動促進キャンペーンの一大イベント「いいこといっしょにいきいきフェスタ★2012」が開かれます。  
NPO体感ブースでは、NPOの活動を一部体験できるワークショップや、展示・販売などを実施。  
企業出店ブースでは寄付つき商品を販売し、「食べるだけ」「買うだけ」で社会貢献ができます。



当日は、NPOが作成した共感CM (視聴者の共感を得られるよう各団体の活動等をアピールする内容です) も上映され、来場者の投票で上位入賞団体等が決まります。  
また、東日本大震災の被災地にも駆けつけた支援車や、地震を体験できる起震車も登場。東日本大震災での県内団体の支援の様子等を知っていただけます。  
このほか、大芋煮会や六子ちゃんのライブ、抽選会等、盛りだくさんの内容です。  
県内最大級の社会貢献イベントを、みんなで一緒に盛り上げていきましょう!

(出展予定団体は3ページに掲載)

**【申し込み・問い合わせ先】**  
**(公財)ふるさと島根定住財団 (平野・森山)**  
**TEL: 0852-28-0690**  
**FAX: 0852-28-0692**  
**E-mail: shimane@teiju.or.jp**



## 助成金情報

### 国際交流助成追加募集

**期** ~1/31 (木)

海外における日本理解の増進に寄与・貢献する業務・事業で、日本の政治、経済、文化、その他日本一般事情の紹介にかかわるものを助成します。

- (イ)日本の理解に繋がる国際交流を目的とした国際会議
- (ロ)日本の一般事情や文化、芸術などを海外に紹介する公演・展示会
- (ハ)海外における日本語普及の事業
- (ニ)海外の教育機関等を対象とした、人文・社会科学分野の日本研究
- (ホ)その他、海外における日本理解の増進に寄与する事業

**対**個人または団体。識者の推薦状添付を求めます。

**金**1件あたり10万円から70万円程度

ただし、追加助成予算残額がなくなった時点で募集を締め切ります。

**問**(公財)双日国際交流財団 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング26階 TEL: 03-6871-2800、FAX: 03-6871-5561

### セブーンイレブン記念財団 公募助成(活動助成)

**期** ~1/31 (木)

セブーンイレブン店頭募金箱に寄せられた募金を、地域の環境市民活動に助成します。

**対**NPO法人、任意団体、一般社団法人

上限なし、総額5000万円

**問**一般財団法人セブーンイレブン記念財団 東京都千代田区二番町8番地8  
TEL: 03-6238-3872、FAX: 03-3262-2513



## イベント情報

### さくらおろち湖 里山で少し ボランティアな懐かしい1日

**日時** 12/9 (日) 10:00~15:00

12/15 (土) 同上

12/22 (土) 同上

・12/9=奥出雲町阿井地区「昭和初期の農村を聞き書きから巡る」~昭和初期の農村ドラマの現地体験等

・12/15=雲南市温泉地区「雑木林の活用アラカルト」~雑木搬出・椎茸植菌、飾り炭づくり等

・12/22=奥出雲町三沢公民館「何百年と続く自然と人の共生循環社会~里山~の素晴らしさを学ぶ」~造林地のクズ取り作業やドラム缶窯で焼くピザとクロモジ茶等

**定**各回25人(ただし22日のみ20人。先着順 **費** 1000円(昼食代)

**主**雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち

**問**〒699-1342雲南市木次町平田779-1 TEL・FAX:0854-48-0729

### 県民手作り「第九」

#### コンサート in 島根

**日時** 12/9 (日) 14:00~

第1部は吉田サハラ氏によるピアノソロ、第2部は島根第九をうたう会による「第九」の合唱・オーケストラ。指揮は松尾昌美氏、ソリストを岩水美稚子氏、鳥谷尚子氏、川西悠紀氏、田中俊太郎氏が務めます。

**場**島根県民会館大ホール **費** 2000円(当日2500円)

**主**島根第九をうたう会 **問** TEL: 090-3170-4180

### 福祉講演会「人が生き死ぬこと」

**日時** 12/23 (日) 13:30~

国立がんセンター名誉総長を務める垣添忠生氏を講師に招きます。真にこころ豊かに暮らせる地域社会の実現に向け、一緒に考えてみませんか。

**場**浜田市野原町1826-1いわみ~る401号研修室 **費** 無料

**主**NPO法人はとぼっぱ **定** 200人

**問** NPO法人はとぼっぱ 〒697-0033浜田市朝日町93番地12

TEL: 0855-25-0160 FAX: 0855-25-0155



## 募集情報

### しまね web モニター

**期** ~12/29 (土)

県政に対する県民の意見を広くお聞きするため、web モニターを募集します。

年10回程度、県政の課題などから選定したテーマについて、パソコンから回答いただきます。 **対** 満15歳以上の県内在住者で、電子メールアドレスを持ち、インターネットができる人。県広聴広報課ホームページ「しまね web モニター」から応募してください。 **問** 県広聴広報課県民対話室 TEL: 0852-22-6501

URL: <http://www.pref.shimane.lg.jp/kochokoho/webmoni/>

### 第37回正力松太郎賞

**期** ~12/15 (土)

仏教精神に基づいた宗教情操教化活動に業績をあげた個人・団体や、青少年の育成に努力した40歳以下の個人・団体、東日本大震災に際し緊急支援や復興支援に尽力した個人・団体に各賞を贈ります。

**金**本賞/100万円、青年奨励賞/30万円

**問**全青協事務局 TEL: 03-3541-6725

URL: <http://www.zenseikyo.or.jp/japa/activity6-1.html>

## いいこといっしょにいきいきフェスタ★2012 出展団体 決定!

12月1日当日ブース出展予定団体を紹介します!

【NPOブース】 (H24, 11, 15 現在)

### 環境

緑と水の連絡会議  
里山バイオマスネットワーク  
樹冠ネットワーク  
もりふれ倶楽部  
森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議  
かえる倶楽部  
自然再生センター

### 子ども

おやこ劇場松江センター  
しまね子どもセンター  
しまね子育て子育て支援ネットワークつながるネ! ユニ  
YCスタジオ

### まちづくり

まちづくりネットワーク島根  
結まーるプラス

### 文化芸術スポーツ

あしぶえ  
中村元記念館東洋思想文化研究所

### 福祉

プロジェクトゆうあい  
ファミリーサポートホーム 金太郎の家  
アロマテラピー・グループあんじゅ  
福祉ネット だんだんネ

### その他

リーガルネットワークしまね  
みんなでつくるカフェ  
益田市市民活動推進協議会  
ごようきさ三河屋プロジェクト協議会

### 【東日本大震災支援ブース】

東日本大震災松江・島根支援協議会  
しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

## 寄付つき商品

—企業とのコミュニケーションツールとして—  
「寄付つき商品」のはじまりは、アメリカンエクスプレス社。1983年にカード加入につき1ドル、利用の度に1セントを寄付する「自由の女神修繕キャンペーン」を展開したところ、3ヶ月で総額170万ドルもの寄付に成功。同時に、カードへの新規加入者が45%増加し、カード利用率は28%も増加しました。売上を伸ばした社会貢献として大きな注目を集めたのです。その後、Volvicの「1ℓ for 10ℓ」(水を1ℓ購入すると、アフリカ・マリに10ℓの水を提供)やアサヒスーパードライの「1本1円を環境保全活動へ寄付」(島根県では宍道湖や石見銀山の環境保全に充てられている)など様々な社会的課題に対して、「寄付つき商品」が開発されました。

しかし、「寄付つき商品」といえば、大企業と有名NPO・NGOとの話だと思われがちですが、島根県でもがん対策基金のバナナなど成功例がいくつもあります。ちなみに同募金には7億円を超える寄付が集まっています。

そこで、島根県内の「寄付つき商品」を増やそうと、県民いきいき活動促進キャンペーンを通じて、しまね社会貢献基金にご寄付いただけるサポーター企業を募集しています。募金箱の設置や「寄付つき商品」の開発を提案しているところです。

企業から直接、寄付をいただくのは中々厳しい経済状況ですが、売上の一部を寄付してもらう「寄付つき商品」なら、過大な負担なく寄付できるうえ、消費者からの共感を得て企業イメージをアップさせることができます。さらに、しまね社会貢献基金への寄付なら、寄付金を全額損金算入できるのです。こうした企業側のメリットをしっかりと伝えつつ、企業へアプローチ

**寄付つき商品のメリット**

企業から直接、寄付をいただくのは中々厳しい経済状況ですが、売上の一部を寄付してもらう「寄付つき商品」なら、過大な負担なく寄付できるうえ、消費者からの共感を得て企業イメージをアップさせることができます。さらに、しまね社会貢献基金への寄付なら、寄付金を全額損金算入できるのです。こうした企業側のメリットをしっかりと伝えつつ、企業へアプローチすれば、きっと多くの企業からの支援が得られるはず。企業の事業パートナーとして、「寄付つき商品」を通してコミュニケーションを図ってみてはいかがでしょうか。(S)



## CSR/SR(組織の社会的責任)

コラム

少し前までは、CSR(Corporate Social Responsibility)という言葉が盛んに使われていました。企業にとっては存続するために利益の追求は欠かせませんが、このままでは近い将来に世界全体が立ち行かなくなるであろうという危機感から、同時に環境などの社会問題の解決に対して責任を果たすべきだという考え方が広まりました。

日本では食品表示偽装問題などの企業の不祥事の相次いだ04年頃から次第に意識が高まり、原材料などの仕入れから加工、流通、販売に至るまでのサプライチェーン(供給網)全体を見直し、生態系の保全に配慮する企業が増えてきました。今年開催した企業向けのCSRセミナーでは、CSRは社会貢献だけでなく、社会における責任を企業が率先することは、企業として生き残れる唯一の方法、と解説がありました。

さらに昨今、企業だけでなく、あらゆるセクターが社会的

責任(SR)を果たすべきという考えが国際的にも急速に広まっており、対話を通じて各セクターが積極的に関わり合う協働が必要であることが強調されるようになりました。中でも民間セクターの役割が重要であり、新しい「公」が互いに協働しあい、将来の世代のニーズを損なうことなく今日の世代のニーズを満たす、持続可能(サステイナブル)な社会の実現を目指すことが求められています。

NPOは特に社会課題を解決する目的で存在するので、無関心でいるわけにはいきません。私たちも、何か事業をしようとするときに、それが環境にどういった影響を与えるか、人権についてはどうか、また持続可能な社会に貢献するかどうかを考えながら行動していきましょう。

# 島根で 頑張る人

## 森林の大切さ、 子供たちに伝えたい

今、県西部の保育園や小学校から多くの支持を得ている団体がある。それが樋口さん率いる「樹冠ネットワーク」だ。子供たちを対象に紙芝居の上演やオブジェ作り体験等を展開しているのだが、紙芝居の主人公は森や地球、オブジェの材料は木の切れ端や木の実等自然のもので徹底されている。自然にこだわる理由はただ一つ、「森林の大切さを子供達に伝えたい」。

団体発足前に「樹冠」という名の手作りの新聞が発行されたのは、平成16年。森林保全活動情報や木の豆知識



森林教室の様子

等をカラフルな紙面で提供した。作成者は、当時国有林の森林官を務めていた樋口さん。林業が荒廃している現状を目の当たりにし、「子供たちに木の事を知ってもらい、いつか日本の森林の未来を担ってもらいたい」との思いから新聞を毎月40部ずつ自費発行することを決心した。当初、前例のない行動に一部反発の声もあがったが、逆風にめげず、林業の啓発のために力を注いだ。活動を重ねた結果、支持者は増え、農林水産大臣から活動を称えられるまでになった。

森林教室では、手作りの道具を使って森林の役割や、直面している林業の危機を学んでもらう。子供たちの年齢に合わせて内容を変え、意識に残る工夫を凝らしている。また、官・民・学の連携の橋渡し役もこなし、森林の未来を見据えてネットワークを紡いでいる。

森林保全に今すぐ答えは出ない。けれどきっと何かは変わると「樹冠」の紙面に樋口さんは記す。樹木がゆっくり育ち、年輪を重ねるように、その輪は確実に広がりを見せている。

(A)



## 樹冠ネットワーク代表 樋口 千代子 さん

江津市出身。元大和森林事務所森林官。現在も臨時職員として席を置く。平成24年、森林・林業の普及啓発活動の功績を、農林水産大臣より表彰される。

## 団体の今までの主な活動

平成16年、樋口さんが個人で手作り新聞「樹冠」の作成を開始。

23年、森づくりや木材資源の利用、森とのふれあい活動等を主体とする「樹幹ネットワーク」を設立。森林事務所主催で行っていた森林教室を受け継ぎ、保育園や学校でぬくもりあふれる教室を開催している。

## スタッフ後記

今年も残すところ1カ月あまりとなりました。急に冷え込む日もあり、体調を崩す人も多い今日この頃ですが、皆さんはお元気ですか？ 早々に登場したこたつにはまり、丸まって過ごすのも至福の時ですが、年末にかけて各地で開催される熱気あふれるイベントに参加し、しばし寒さを忘れてみるのもお勧めです！ その一つ、「いいこといっしょにいっきフェスタ★2012」が、12月1日、松江市のくびきメッセで開かれます。NPO、行政、企業、県民が協働しながら、さらに「いっきした社会を創っていくために一緒に考えてみませんか？」 (K)



## 地域づくり戦略セミナー 「地域まるごと販売術」参加者募集！

馬路村を“ゆずの村”として全国に浸透させた高知県馬路村ブランド商品の仕掛け人松崎 三三 氏を招いたセミナーが、11月28日午後6時から浜田合同庁舎2階で、11月29日午後2時からタウンプラザしまね6階で開催されます！

当日会場での参加も受け付けます。問い合わせはふるさと島根定住財団(TEL0852-28-0690)まで。

【H24.10.31現在】

- 県内NPO法人数・・・258 (内 認定NPO法人数・・・1)
- 新設NPO法人数・・・3 (H24.10月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数・・・52
- だんだん認証レベル取得団体数・・・41 (内 レベル2・・・21)

松江  
事務局

〒690-0003  
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階  
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692  
E-mail: shimane@teiju.or.jp

石見  
事務所

〒697-0034  
浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階  
石見産業支援センター「いわみびらっと」内  
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630  
E-mail: iwami@teiju.or.jp